

製品名: ATP1A1 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82660**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2a
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	112.8kDa

抗原情報

遺伝子名	ATP1A1
別名	CMT2DD; HOMGSMR2
遺伝子 ID	476.0
SwissProt ID	P05023
免疫原	大腸菌で発現したヒト ATP1A1 (AA: 153-288) の精製された組み換え断片。

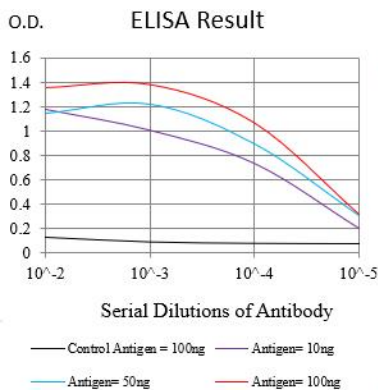
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、P型陽イオン輸送 ATPase ファミリーおよび Na⁺/K⁺ -ATPase サブファミリーに属します。Na⁺/K⁺ -ATPase は、細胞膜を横切る Na および K イオンの電気化学的勾配を確立および維持する役割を担う膜貫通タンパク質です。

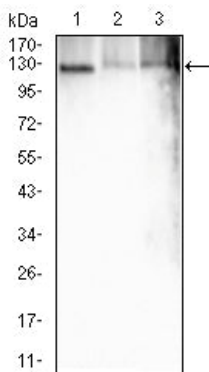
ク質です。これらの勾配は、浸透圧調節、様々な有機および無機分子のナトリウム共役輸送、神経および筋肉の電氣的興奮性に不可欠です。この酵素は、大きな触媒サブユニット（アルファ）と小さな糖タンパク質サブユニット（ベータ）の2つのサブユニットで構成されています。Na⁺/K⁺-ATPaseの触媒サブユニットは、複数の遺伝子によってコードされています。この遺伝子はアルファ1サブユニットをコードします。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つかっています。

研究分野

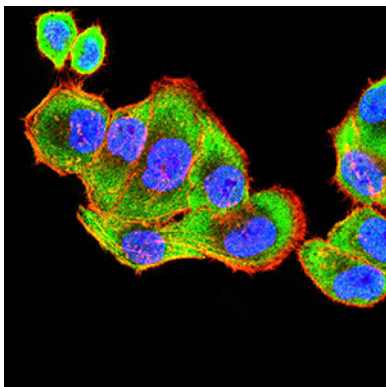
画像データ



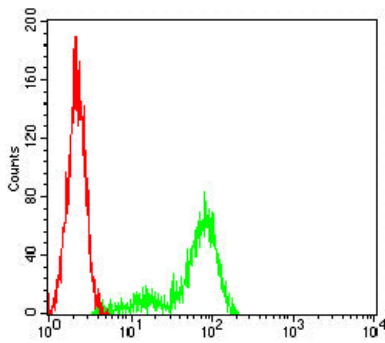
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



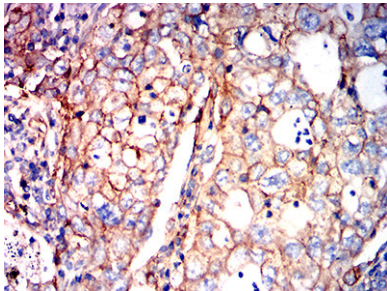
Hela (1)、HepG2 (2)、および A431 (3) 細胞溶解物に対する ATP1A1 マウス mAb を使用したウエスタンブロット分析。



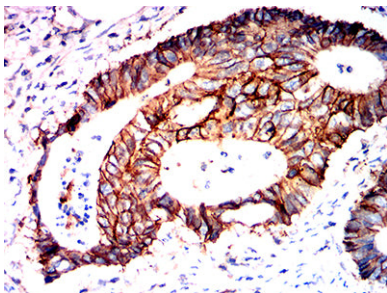
ATP1A1 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



ATP1A1 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。



ATP1A1 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学分析。



ATP1A1 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト直腸癌組織の免疫組織化学分析。